

# 成長・貢献・感謝

羽地中学校  
学校だより113号  
R1. 10. 17



## ソフトテニス東風平中に接戦

第47回当山壁一杯ソフトテニス大会が12日(土)、13日(日)、名古屋市営庭球場で行われました。土曜日は女子代表の部で、O・T(A)ペア、I・T(N)ペア、O・Nペア、N・Kペアで団体戦を戦いました。

羽地中の初戦は美東中さん、初戦の緊張感でミスが出ないか心配されたがサーブやスマッシュにミスが少なく、2-1で勝利した。

続く二回戦は石嶺中さん。強いチームであるが、互いに粘って2-1で勝ち進み、三回戦は伝統的な強豪・東風平中さんとの対戦でした。

強豪・東風平中相手にミスで潰れるかと思いきや、決まったときの雄叫びで自分たちを鼓舞し続け、O・Tペアが強気で競り勝った。続くI・Tペアも相手の強弱のある攻撃に苦勞しながらも粘りを見せ、懸命に白球を追い続ける成長ぶりを見せてくれました。諦めない強い気持ち。



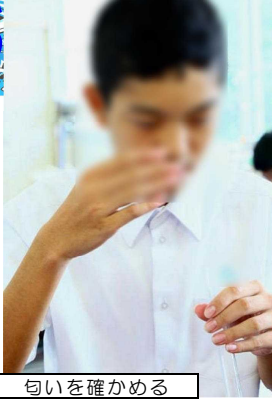
試合は、あと一歩のところまで勝利に結びつかず敗退し、惜しくも決勝リーグには進むことができなかった。東風平中さんに勝って、決勝リーグに進み、3位以内の入賞で九州大会出場、が目標のようでした。

次の目標は、九州大会に出場するだけでなく、九州大会でも勝ち進む強いチームになることでしょう。サーブを確実に決める。相手のいない空間やコーナを攻められる頭脳と脚力・腕力・コントロール力を鍛えたい。お疲れ様でした。シチマンタル



## 科学の目で考える

ソコンやスマホに代わってならないバッテリーとなった。今後自動車など様々なところで活用されるであろう。科学は未来の社会のためにある。だから理科は未来の科学者を育てる。



匂いを確かめる



反応していく色などを見る



高温になるので、めがねを装着する



2年理科 鉄と硫黄の化合の実験を参観しました。

鉄粉7gと硫黄粉4gを混ぜ合わせ、試験管に入れた後に45度に傾けて加熱していく。加熱すると、物質はどのようにに変化するか、目で、匂いで、磁石で変化を確かめ、物質の化学変化を推論していく学習である。

鉄と硫黄は加熱すると、激しく発熱し、赤色に連鎖的に反応していく。火山噴火の基本的な原理だ。卵の腐ったような臭いは、温泉の匂いでもある。

実験を通して、確かに物質が変化するが、確かめたり、科学的な根拠を持って説明したり、見方・考え方を持つことが大切だ。ノートに結果を正確に記録する。2年理科は「分解」「化合」で物質を調べるとH先生が言う。

ノーベル化学賞を受賞した吉野彰さんが開発したりリチウムイオン電池は、いまやパ